



その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

令和6年度（2024年度） 北海道原子力防災訓練 実施結果報告書

令和7年（2025年）3月

北海道・泊村・共和町・岩内町・神恵内村・
寿都町・蘭越町・二セコ町・倶知安町・
積丹町・古平町・仁木町・余市町・赤井川村

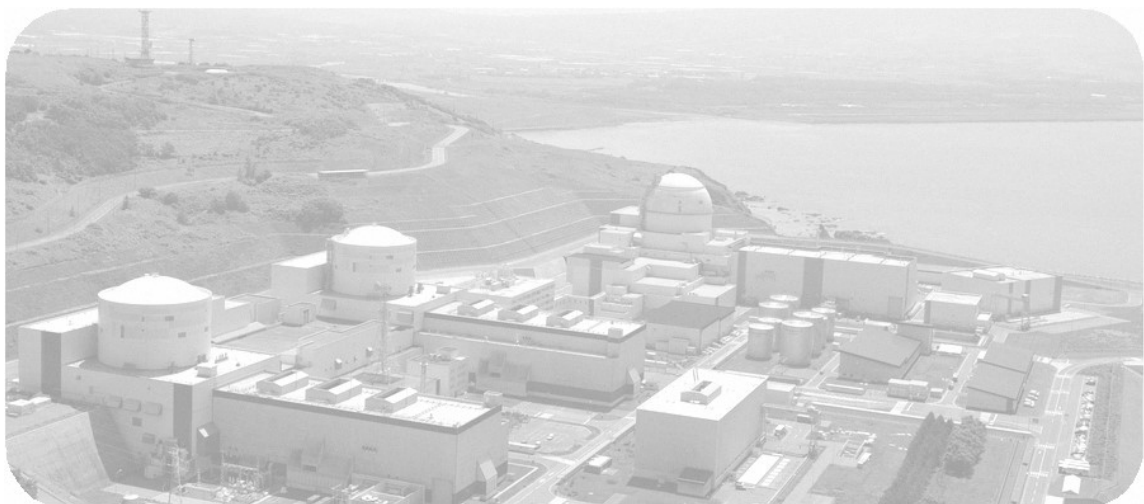
は じ め に

北海道原子力防災訓練は、北海道防災会議が策定した「北海道地域防災計画（原子力防災計画編）」、泊村、共和町、岩内町、神恵内村で組織する泊発電所原子力防災会議協議会が策定した「泊発電所周辺地域原子力防災計画」及び寿都町、蘭越町、二セコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村が策定した「地域防災計画（原子力防災計画編）」、「泊地域の緊急時対応（国、道及び関係町村の原子力災害対策を一体的に取りまとめたもの）」に基づき、住民避難訓練や災害対策本部の設置運営訓練などを組み合わせて総合的に実施する訓練（以下、「総合訓練」という。）や、要素ごとに実施する訓練（以下、「要素訓練」という。）により構成され、昭和63年度以降、毎年度実施している。

今年度の総合訓練は、令和6年（2024年）10月に、地震との複合災害を想定し、意思決定訓練と実動訓練を連動させて1日間の日程で実施した。意思決定訓練では、北海道原子力防災センター（オフサイトセンター）に国や道などの防災関係機関の要員が参集し、地震との複合災害時における防護措置の調整・確認を行った。実動訓練では、事態の推移に応じて、PAZとUPZの区分ごとの段階的な住民避難に加え、地震被害に伴い開設した避難所での屋内退避、孤立地域を想定したヘリコプター・装甲車による救出救助を実施したほか、避難バス運転手の安全確保のための情報伝達、さらには避難区域時検査などの原子力災害医療活動に取り組んだ。

また、冬季における半島での住民避難、防護措置が円滑に行われることを目的として、令和7年（2025年）2月に原子力防災要素訓練を実施した。この他、毎月1回を基本に関係町村・関係機関に設置している「原子力防災ネットワーク専用回線」を使用した通信連絡訓練、緊急時環境放射線モニタリング訓練などを通じて防災業務関係者の技術向上に取り組んだ。

本報告書は、訓練の記録として取りまとめたほか、訓練終了後に関係機関等に行った事後調査等を基に得られた課題等を整理し、今後の訓練や防災対策に資するものである。



目 次

第1 総合訓練

1	目 的	1
2	実施日時	1
3	主 催	1
4	場 所	1
5	対象施設	1
6	参加・協力機関	1
7	訓練想定	5
8	訓練内容	7
9	訓練イベント時刻	16
10	住民避難訓練整理表	18
11	訓練実施場所図	19
12	事前準備・結果報告等	20

第2 原子力防災要素訓練

1	目 的	21
2	実施日時	21
3	主 催	21
4	場 所	21
5	対象施設	21
6	参加・協力機関	21
7	訓練想定	21
8	訓練内容	21
9	事前準備・結果報告等	22

第3 課題等整理表

1	総合訓練	23
2	原子力防災要素訓練	32

第4 その他（要素訓練等）

1	通信連絡訓練	34
2	原子力災害時の相互応援訓練	34
3	原子力災害対策本部及びオフサイトセンター訓練（図上演習）	35
4	緊急時環境放射線モニタリング訓練	35
5	原子力災害医療研修会	36
6	その他研修	36
7	地域学習会	37

<参 考>

■	北海道原子力防災訓練の実施状況（平成24年度～令和6年度）	38
■	訓練参加住民アンケート調査結果（総合訓練）	47
■	令和6年度北海道原子力防災総合訓練リーフレット	51
■	原子力災害に備えた屋内退避マニュアル	53
■	緊急時における防護措置の概要	60

第1 総合訓練

1 目 的

防災関係機関が協力して原子力防災対策を円滑に実施できるよう、関係機関の連携、防災業務関係者の防災技術の向上を図るとともに、地域住民の防災意識の高揚や、防災対策に関する理解促進を図る。

2 実施日時

令和6年（2024年）10月31日（木） 8：30 ～ 15：30

3 主 催

北海道、泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、二セコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村

4 場 所 [実動訓練場所]

泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、二セコ町、倶知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村、真狩村、留寿都村、札幌市、室蘭市、洞爺湖町

5 対象施設

北海道電力（株） 泊発電所（3号機）

6 参加・協力機関

防災関係機関等 344機関（防災業務関係者 1,290人）

（1）北海道警察 … <1>

（警察本部、札幌方面中央警察署、札幌方面南警察署、札幌方面手稲警察署、札幌方面余市警察署、札幌方面倶知安警察署、札幌方面岩内警察署、札幌方面室蘭警察署、函館方面寿都警察署）

（2）北海道教育委員会 … <1>

（北海道教育庁、後志教育局）

（3）市町村 … <23>

札幌市、小樽市、島牧村、黒松内町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、千歳市、北広島市、江別市、洞爺湖町、豊浦町、伊達市、室蘭市、苫小牧市、登別市、壮瞥町、白老町、むかわ町、安平町、厚真町、長万部町

（4）消防機関 … <3>

岩内・寿都地方消防組合（消防本部、岩内消防署、泊支署、共和支署、神恵内支署、寿都支署）、北後志消防組合（消防本部、余市消防署、古平支署、積丹支署、仁木支署、赤井川支署）、羊蹄山ろく消防組合（消防本部、倶知安消防署、蘭越支署、二セコ支署）

（5）関係省庁 … <3>

原子力規制委員会原子力規制庁、泊原子力規制事務所、内閣府

(6) 指定地方行政機関 … <7>

総務省北海道総合通信局、経済産業省北海道経済産業局、国土交通省北海道開発局、国土交通省北海道運輸局、気象庁札幌管区气象台、海上保安庁第一管区海上保安本部、環境省北海道地方環境事務所

(7) 自衛隊 … <3>

陸上自衛隊北部方面隊、海上自衛隊大湊地方隊、航空自衛隊北部航空方面隊

(8) 指定公共機関 … <5>

(株)NTTドコモ北海道支社、KDDI(株)北海道総支社、ソフトバンク(株)、東日本高速道路(株)北海道支社、(国研)日本原子力研究開発機構

(9) 指定地方公共機関 … <3>

(公社)北海道トラック協会、(一社)北海道バス協会、(一社)北海道建設業協会

(10) 公共的団体等 … <9>

古宇郡漁業協同組合、岩内郡漁業協同組合、寿都町漁業協同組合、東しゃこたん漁業協同組合、余市郡漁業協同組合、きょうわ農業協同組合、余市町農業協同組合、新おたる農業協同組合、余市水産加工業協同組合

(11) 協力企業等 … <21>

(公社)北海道国際交流・協力総合センター、北海道中央バス(株)、ニセコバス(株)、札幌観光バス(株)、札幌第一観光バス(株)、イナホ観光(株)、空知中央バス(株)、道南バス(株)、東芝ITサービス(株)、(株)サイエンスアーツ、日本通運(株)、北海道エネルギー(株)、(株)JDORONE、アパホテル&リゾート〈札幌〉、テンザホテル&スカイSPA・札幌セントラル、室蘭プリンスホテル、(社福)黒松内つくし園本部、湯の里・黒松内、ルスツリゾート、キロロリゾート、洞爺湖畔亭

(12) 原子力事業者 … <1>

北海道電力(株)(本店、泊発電所)

(13) 医療機関 … <9>

北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、旭川医科大学病院、伊達赤十字病院、北海道社会事業協会余市病院、北海道社会事業協会岩内病院、北海道厚生連(株)安厚生病院、小樽市立病院、(一社)北海道放射線技師会

(14) 学校・幼稚園・児童福祉施設 … <111>

【泊村】泊村立泊小学校、泊村立泊中学校、とまり保育所

【共和町】共和町立南幼稚園、共和町立中央保育所、共和町立北幼稚園、共和町立へき地保育所、共和町立東陽小学校、共和町立北辰小学校、共和町立西陵小学校、共和町立共和中学校

【岩内町】高田幼稚園、岩内幼稚園、岩内町立岩内東小学校、岩内町立岩内西小学校、岩内町立岩内第一中学校、岩内町立岩内第二中学校、北海道岩内高等学校、いわない東保育所、いわない西保育所、岩内厚生園、児童デイサービスチャレンジキッズどんぐり、ファミリーホームろっく、(特非)はなうた・はみんぐfunいわない

【神恵内村】神恵内保育所等複合施設、神恵内村立神恵内小学校、神恵内村立神恵内中学校

【寿都町】寿都町立寿都小学校、寿都町立潮路小学校、寿都町立寿都中学校、北海道寿都高等学校、寿都保育園、歌葉洗心学園

【蘭越町】蘭越ひばり幼稚園、蘭越町立蘭越小学校、蘭越町立昆布小学校、蘭越町立蘭越中学校、北海道蘭越高等学校、蘭越保育所、北海愛星学園、昆布保育所

【ニセコ町】ニセコ町幼児センター、ニセコ町立ニセコ小学校、ニセコ町立近藤小学校、ニセコ町立ニセ

- コ中学校、ニセコ町立北海道ニセコ高等学校、北海道インターナショナルスクールニセコ校
- 【倶知安町】 倶知安幼稚園、倶知安藤幼稚園、倶知安めぐみ幼稚園、倶知安町立倶知安小学校、倶知安町立西小学校、倶知安町立西小学校樺山分校、倶知安町立北陽小学校、倶知安町立東小学校、倶知安町立倶知安中学校、北海道倶知安高等学校、北海道倶知安農業高校、くっちゃん保育所ぬくぬく、子育て支援センター、児童チャレンジサポートさやえんどう、羊蹄山ろく発達支援センター、倶知安町立北児童館、倶知安町立南児童館
- 【積丹町】 積丹町立美国小学校、積丹町立日司小学校、積丹町立野塚小学校、積丹町立余別小学校、積丹町立美国中学校、積丹町立びくに保育所、みなと保育所
- 【古平町】 古平町立古平小学校、古平町立古平中学校、認定こども園ふるびら幼児センターみらい、こどもホーム
- 【仁木町】 仁木町立銀山小学校、仁木町立仁木小学校、仁木町立銀山中学校、仁木町立仁木中学校、北海道芸術高等学校仁木本校、にき保育園、櫻ヶ丘学園、大江へき地保育所、銀山へき地保育所
- 【余市町】 余市町立黒川小学校、余市町立大川小学校、余市町立沢町小学校、余市町立登小学校、余市町立旭中学校、余市町立東中学校、余市町立西中学校、北海道余市紅志高等学校、北海道余市養護学校、(福)徳風会ほうりゅうじ保育園、北後志母子通園センター、余市町立中央保育所、余市町立大川保育所、北星学園余市高等学校、(学)余市杉の子学園杉の子幼稚園、(学)北海道キリスト教学園リタ幼稚園、(学)夢の森学園夢の森幼稚園、余市町沢町児童館、余市町黒川児童館、(福)よいち福祉会地域小規模児童養護施設さくら、(特非)どんぐり、はばたき、かがやき
- 【赤井川村】 赤井川小学校、都小学校、赤井川中学校、赤井川へき地保育所

(15) 病院・社会福祉施設 … <107>

- 【泊村】 泊村養護老人ホームむつみ荘、泊村特別養護老人ホームむつみ荘
- 【共和町】 地域活動支援センター前田の家、共和町いきいきセンター、共和町特別養護老人ホームみのりの里共和
- 【岩内町】 医療法人岩内大浜医院、岩内あけぼの学園、ベーカリーサンライズ、介護老人福祉施設岩内ふれ愛の郷、介護老人保健施設コミュニティホーム岩内、岩内町デイサービスセンター、グループホーム「そよかぜ」岩内、介護付有料老人ホーム七福神恵比寿館
- 【神恵内村】 介護老人保健施設神恵内ハイツ998
- 【寿都町】 寿都町立寿都診療所、歌集慈光園、ワークランド歌集、はまなす寮、寿都浄恩学園、寿都寿海荘、寿都デイサービスセンター
- 【蘭越町】 (医)静和会昆布温泉病院、蘭越診療所、特別養護老人ホーム一灯園、高齢者グループホームらんこし、蘭越町通所介護事業所こんぶ、高齢者生活福祉センターこんぶ、高齢者生活福祉センターめな
- 【ニセコ町】 医療法人ニセコ医院、(特非)ニセコ生活の家、特別養護老人ホームニセコハイツ、(福)ニセコ福祉会ニセコ町デイサービスセンター、(福)ニセコ福祉会ニセコ町グループホームきらり
- 【倶知安町】 障がい者就労支援施設羊蹄セルブ、人と人をつなぐ陽だまり、グループホームそら、グループホームかぜ、グループホームゆめ、共同生活援助事業あゆ〜む、障がい者就労支援事業所ワークショップようてい、グループホームよろこび(グループホームよろこび、グループホームまどか、グループホームえがお、グループホームここに、グループホームしずく)、ワークステーション輝、夢のたくみ、羊蹄ハイツ、デイサービスセンター羊蹄ハイツ、介護老人保健施設麓華苑、グループホーム羊蹄、デイサービスろっかえん、倶知安町老人デイサービスセンター、リハビリ特化型サービスカラダラボ
- 【積丹町】 積丹町立国民健康保険診療所、エイジングステーションやすらぎ、地域密着型特別養護老人ホームゆうるり
- 【古平町】 (福)古平福祉会、よろこび寮、共働の家、みつくすベジタ、きょうどう、地域生活総合支援センターいこいの家、若者宿、つどい、古平町高齢者生活支援センター元気プラザ、夕凧、朝凧、

デイサービスセンターのどか、グットケア、ほほえみくらす、セルフケア、古平デイサービスセンター、高齢者支援ハウス、古平町社会福祉協議会、古平町立診療所海のまちクリニック

【仁木町】(医)森内科胃腸科医院、(福)後志報恩会銀山学園、(福)後志報恩会大江学園、(福)後志報恩会えんれいそう、(福)後志報恩会陽だまり、(福)後志報恩会ふきのとう、あんごの森「銀山」、回復の森「銀山」、(福)仁木福祉会グループホーム仁木やすらぎの里、(福)仁木福祉会デイサービス仁木やすらぎの里、(福)仁木福祉会仁木長寿園

【余市町】(福)小樽四ツ葉学園、あおぞら、(福)よいち福祉会、(福)徳風会、(特非)ロータス会、グループホーム夢、デイサービスひかり、でいさあーびす笑、(医)滋恒会、デイサービスセンターかがやき、恵泉虹乃家、ハッピーサポート花ごころ、デイサービス花ごころ、(特非)後志地域サポートセンター、(特非)樹の杜、(福)恵盛会希望の家余市作業所、(特非)余市はまなす、(医)健志会介護老人保健施設よいち、グループホームこもれび、グループホームポランの家、住宅型有料老人ホームGRACEガーデンモイレ、リハポート余市

【赤井川村】グループホームあまらんす、グループホームあまらんす2号館

(16) その他 … <37>

【泊村】泊村社会福祉協議会、泊村商工会

【共和町】共和町農業開発センター、共和町学校給食センター、西村計雄記念美術館、共和町かかし古里館、共和町社会福祉協議会、共和町商工会、ワイス温泉

【岩内町】岩内地域人材開発センター、(株)いわない高原ホテル、いわない温泉高島旅館、いわない温泉おかえりなさい、ホテルいろう、ホテルENVY、ホテルENVY(新館)、ベイホテルいわない、岩内町老人福祉センター、働く婦人の家、岩内商工会議所

【神恵内村】民宿きのえ荘、旅館恵比須屋

【古平町】古平町商工会、ふるびら温泉しおかぜ

【仁木町】(福)仁木町社会福祉協議会、仁木町商工会、(有)五共ハイヤー、(特非)銀山さわやか福祉NPO、仁木町観光協会

【余市町】余市商工会議所、日本郵便(株)余市郵便局、(一財)余市医師会、余市カントリー(株)(エーヴランドホテル&ゴルフクラブ)、ニッカウモスキー(株)北海道工場、Yoichi LOOP、ゲストハウス余市、民宿 とよはま

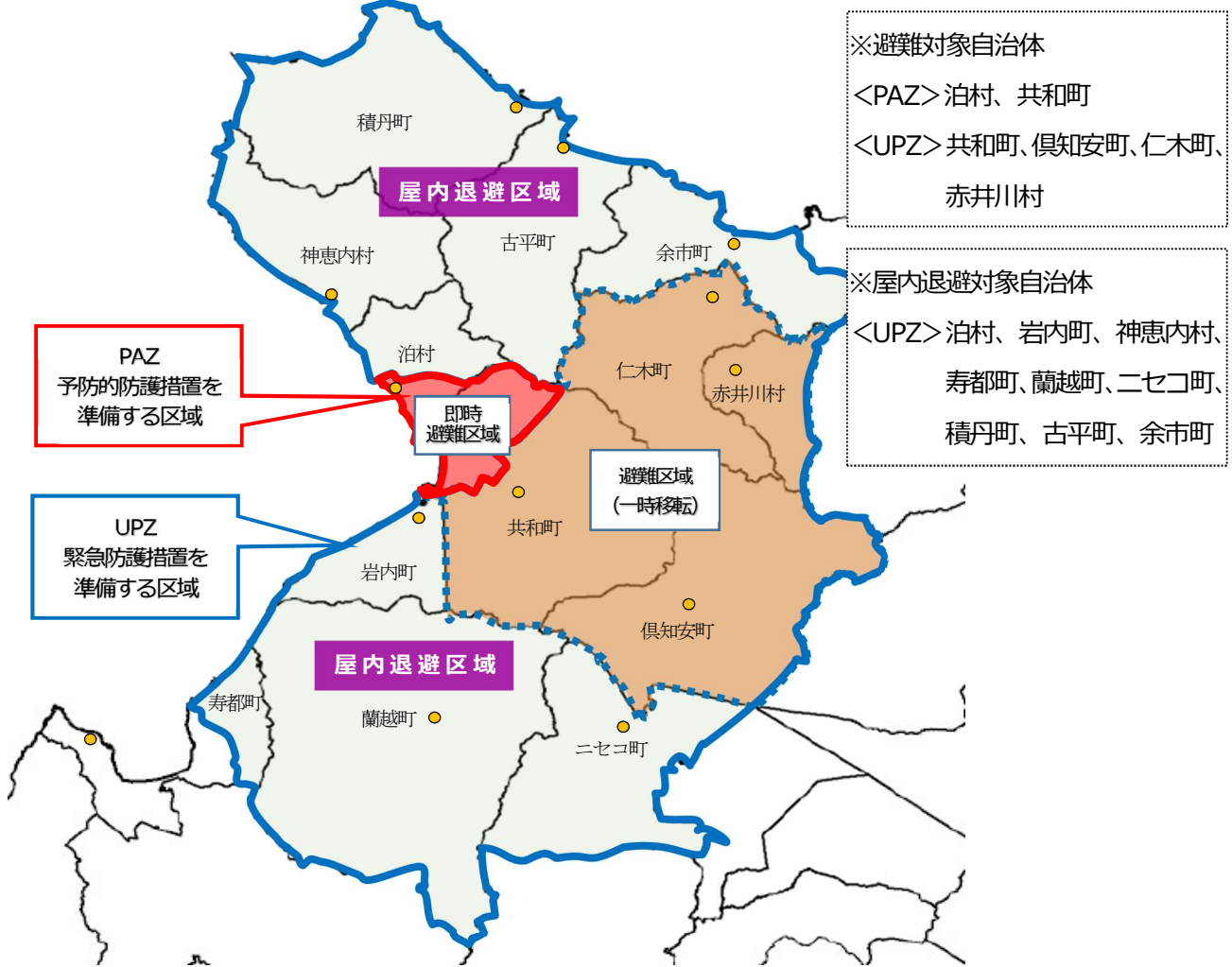
7 訓練想定

- ・後志地方を震源とする最大震度6強の地震が発生。地震後、北海道電力(株)泊発電所3号機において、設備故障により、原子炉の一次冷却材が漏えいし、原子炉が停止。複数の設備故障により原子炉の冷却が不能となり、原子力災害に至る。

時 刻	事 態	事故想定	要請・指示	対象自治体
5:00	地震発生→警戒事態発生通報 EAL(AL)〔警戒事態〕	最大震度6強 (泊村：震度6弱)	連絡体制の確立	関係13町村
5:10		泊発電所3号機の定格 熱出力一定運転中に、 一次冷却材漏えい (1・2号機は停止中)		
5:30	EAL(AL)〔警戒事態〕 警戒事態発生通報	一次冷却材の漏えい量 が増加し、原子炉自動 停止。その後、加圧器 水位低下のため非常用 炉心冷却設備が作動	PAZ要避難者の避難準備	PAZ(泊村・共和町)
7:00 ※想定	EAL(SE)〔施設敷地緊急 事態〕 原災法第10条事象の発生 通報	設備故障により、非常 用炉心冷却設備による 原子炉への注水が一部 不能	PAZ要避難者の避難 PAZ住民の避難準備 UPZ住民の屋内退避準備 ※避難は避難経路等の安 全を確認の上、実施する こととし、それまでの間 は、屋内退避を継続	PAZ(泊村・共和町) UPZ(関係13町村)
8:30 訓練開始				
8:45	※道路啓開情報の受理		PAZ要避難者避難開始	PAZ(泊村・共和町)
9:00	EAL(GE)〔全面緊急事態〕 原災法第15条事象の発生 通報 →原子力緊急事態宣言発出	さらなる設備故障によ り、非常用炉心冷却設 備による原子炉への注 水不能	PAZ住民の避難 UPZ住民の屋内退避 ※避難は避難経路等の安 全を確認の上、実施する こととし、それまでの間 は、屋内退避を継続	PAZ(泊村・共和町) UPZ(関係13町村)
10:30時点で時間を2日間スキップ(放射性物質放出からOIL2超過区域の特定まで) 〈この間に放射性物質の放出・収束、余震発生〉				
11:00			UPZ一部区域(OIL2超 過区域)住民の一時移転	UPZ(共和町、倶知 安町、仁木町、赤 井川村)
12:30	事故収束(格納容器スプレ イの継続)の連絡	格納容器スプレイの継 続により、格納容器圧 力、温度の顕著な低下 を確認(事態収束の方 向)		
15:30 訓練終了				

*原子力発電所では、事故発生に備え、何重もの安全装置が設置されている。今回は事故想定に沿って、これらの安全装置が故障により正常に作動しない事態を想定する。

<防護対策区域>



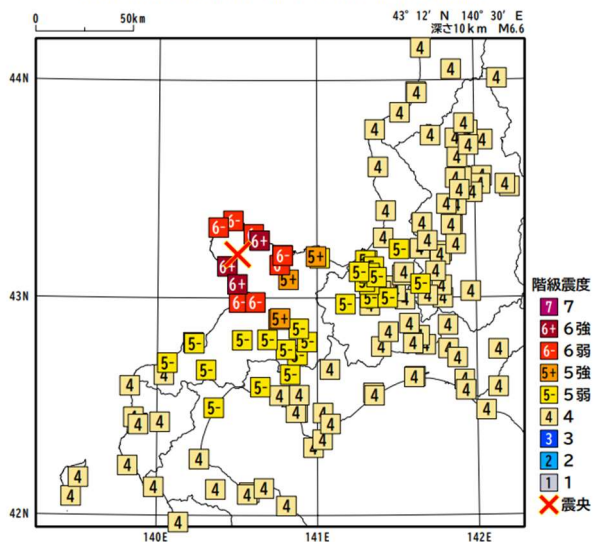
<地震想定>

(1) 10月31日5時00分の地震

(2) 11月2日10時15分の地震

10月31日05時05分発表

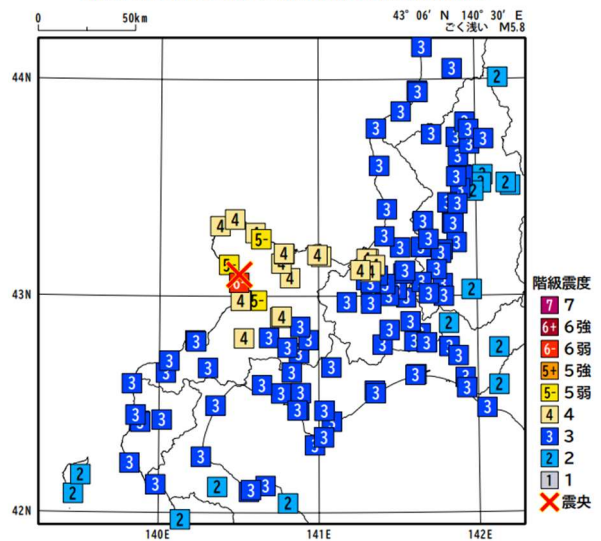
2024年10月31日05時00分 後志地方西部の地震の震度分布図



訓練

11月2日10時20分発表

2024年11月2日10時15分 後志地方西部の地震の震度分布図



訓練

8 訓練内容

(1) 重点活動項目

次に掲げる事項を重点活動項目として、災害対策本部の設置運営訓練及び住民避難訓練などの要素訓練を組み合わせた総合訓練を実施した。

<重点活動項目>

- ◆緊急事態応急対策等拠点施設（OFC）運営訓練
 - ・各機能班を設置し、事故の状況や防災関係機関の対応状況の収集・整理
 - ・スクリーン表示するなど各機能班相互の情報共有
 - ・地震との複合災害時における防護措置に係る防災関係機関との対応の調整
- ◆住民避難訓練
 - ・バス避難のための集合場所の開設
 - ・避難所の開設・運営
 - ・多様な手段による孤立地区等の住民避難
- ◆緊急時環境放射線モニタリング訓練
 - ・緊急時モニタリングセンター（EMC）を拠点としたモニタリングの統括、関係機関との連携
 - ・緊急時モニタリング実施内容の検討（実施計画案の修正）、指示及び情報伝達
 - ・空間放射線量率の測定、環境試料の採取・分析
- ◆原子力災害医療活動訓練
 - ・安定ヨウ素剤の緊急配布
 - ・避難先域時検査場所の開設・運営

(2) 各要素訓練

訓練項目ごとに主要活動項目を設定し、その活動に必要な対応動作や手順の確認を行った。

ア 災害対策本部等設置運営訓練

道及び関係13町村は、災害対策本部を設置し、事態の推移に応じて本部員会議やTV会議を開催し、本体内や防災関係機関と情報共有を図った。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 北海道教育委員会 北海道警察本部	<本庁> ☐道災害対策本部の設置・運営 ☐道本部員会議の開催（3階テレビ会議室） ☐TV会議〔道庁－OFC－関係13町村〕による情報共有と対策の確認 ☐住民避難用バスの手配等に係る連絡調整 <OFC> ☐道現地災害対策本部の設置・運営 ☐住民避難用バスの手配等に係る連絡調整
関 係 1 3 町 村	☐各町村災害対策本部の設置・運営 ☐TV会議〔道庁－OFC－関係13町村〕による情報共有と対策の確認 ☐住民避難用バスの手配等に係る連絡調整
原 子 力 事 業 者	☐本店及び泊発電所にて原子力災害対策本部の設置・運営

＜道災害対策本部員会議＞



＜道災害対策本部（指揮室）＞



＜道現地災害対策本部（OFC内）＞



＜災害対策本部員会議（泊村）＞



＜災害対策本部員会議（共和町）＞



＜災害対策本部員会議（倶知安町）＞



イ 緊急事態応急対策等拠点施設（OFC）運営訓練

OFCに、国、道、関係13町村及び防災関係機関から、あらかじめ定められた要員（30機関238人）が参集し、各機能班を設置するなどして、事故の状況や防災関係機関の対応状況を把握しながら必要な情報共有を図り、地震との複合災害時における防護措置の調整・確認を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
内 閣 府 原 子 力 規 制 庁 泊原子力規制事務所 北 海 道 関 係 1 3 町 村 防 災 関 係 機 関 原 子 力 事 業 者	☐ 各機能班を設置し、事故の状況や防災関係機関の対応状況を収集・整理 ☐ スクリーン表示するなど各機能班相互の情報共有 ☐ 地震との複合災害時における防護措置に係る防災関係機関との対応の調整 ☐ 事態の推移に応じた防護措置の作成・取りまとめ ☐ 原子力災害合同対策協議会の開催 ☐ TV会議「道庁－OFC－関係13町村」による情報共有と対策の確認 ☐ ヘリコプター・道路カメラからの映像伝送による情報収集

<原子力災害合同対策協議会>



<班長会議による情報共有>



<住民避難経路の調整>



<TV会議による情報共有>



OFCモニター

<映像伝送による避難経路等の共有>



道路カメラ



ヘリコプター

<機能班の活動>



実動対応班



総括班



医療班

ウ 緊急時通信連絡訓練

各種通信手段を用いた事故状況や対応状況等に関する防災関係機関相互の通報連絡及び関係機関への情報伝達を実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
全 機 関	☐ 電話及びFAX（一般回線及び専用回線）、防災行政無線を用いた防災関係機関相互の通報連絡 ☐ 避難先自治体等への事故状況の伝達や避難受入要請

<関係機関への連絡>



OFC 住民安全班

<関係機関への連絡>



赤井川村

エ 緊急時環境放射線モニタリング訓練

国の統括のもと、OFC内に緊急時モニタリングセンター（EMC）を設置し、国、道、関係13町村、原子力事業者、関係指定公共機関と連携して、緊急時における環境放射線のモニタリング活動を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
原 子 力 規 制 庁 北 海 道 関 係 1 3 町 村 原 子 力 事 業 者	☐ EMCを拠点としたモニタリングの統括、関係機関との連携 ☐ 緊急時モニタリング実施内容の検討（実施計画案の修正）、指示及び情報伝達 ☐ 緊急時モニタリング実施計画に基づく空間放射線量率の測定、環境試料の採取・分析（測定156地点・3ルート） ☐ 放射線モニタリング情報共有システム等によるモニタリング情報の収集、整理、確認及び報告 ☐ OFC放射線班等への緊急時モニタリング結果の提供及び情報共有 ☐ 緊急時モニタリング要員の被ばく管理

<EMCの活動>



OFC

<可搬型放射線計測器設置への出動>



OFC

<無人ヘリによる航空機モニタリング>



岩内町

オ 広報訓練

関係13町村の住民等に対し、防災行政無線や広報車等による広報のほか、緊急速報メールなど多様な手段を活用した広報を実施した。

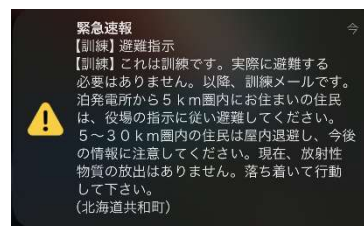
機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 1 3 町 村 防 災 関 係 機 関	☐ 防災行政無線や広報車等による住民広報 ☐ 電話及びFAX（一般回線）等を用い、関係13町村の要配慮者施設（医療機関・社会福祉施設等）や宿泊施設に対する情報伝達 ☐ 緊急速報メールを活用し、多言語による避難指示等を配信 ☐ 道ホームページ・X等を利用した多言語による情報発信

<広報車による住民広報>

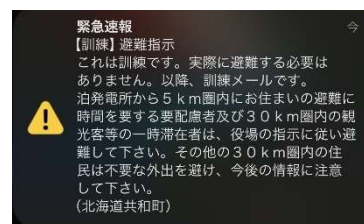


共和町

<緊急速報メール>



SE要配慮者避難指示 共和町



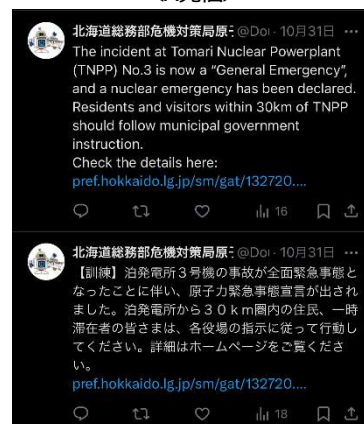
PAZ住民避難指示 共和町

<防災行政無線による住民広報>



共和町

<X発信>



北海道

カ 住民避難訓練

原子力災害対策指針に定められた防護措置の判断基準（EAL、OIL）を基本として、地震との複合災害時において防災関係機関と連携しながら、各町村の避難計画に基づき、住民等の安全確保を優先して屋内避難や避難等の防護措置を段階的に実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
北海道 関係 13 町村 防災関係機関	☐ バス避難のための集合場所の開設（レイアウト図の掲示） ☐ バス等を利用した避難 ☐ 要配慮者（児童や社会福祉施設入所者など）の屋内退避・避難 ☐ 放射線防護施設における屋内退避・出入管理 ☐ 放射線防護施設の損壊を想定した要配慮者の移転 ☐ 避難受入自治体の協力による一時滞在場所の設置・運営 ☐ 避難所の開設・運営（地震により自宅での屋内退避が困難となった場合の避難所開設） ☐ 陸路・空路を用いた孤立地域からの避難 ☐ ドローンによる住民広報・災害状況確認 ☐ 衛星インターネット機器による通信環境の確保 ☐ 避難経路確保のための道路啓開 ☐ 警察官による緊急迂回路誘導 ☐ バス運転手等民間事業者の防護対策（車両動態管理及び情報伝達）

●参加者数 8,578 人（住民避難 473 人、屋内退避 8,105 人）

【避難指示区域】

※（ ）内は屋内退避者

区分	町村名	避難者数	避難方法
PAZ	泊 村	131 (-)	バス 7 台、普通車両 4 台、福祉車両 2 台
	共和町	59 (80)	バス 3 台、普通車両 4 台、福祉車両 1 台
UPZ	共和町	33 (440)	バス 2 台、福祉車両 2 台
	倶知安町	26 (3,317)	バス 1 台、自衛隊装甲車 1 台
	仁木町	102 (670)	バス 5 台、福祉車両 5 台、 自衛隊ヘリコプター 1 機、 北海道警察ヘリコプター 1 機
	赤井川村	116 (6)	バス 4 台
	その他	6 (3,592)	普通自動車 2 台
合 計		473 (8,105)	バス 22 台、普通車両 10 台、福祉車両 10 台、 自衛隊装甲車 1 台、自衛隊ヘリコプター 1 機、 北海道警察ヘリコプター 1 機

<バスによる避難（共和町）>



神水会館

<一時滞在場所の受付>



洞爺湖文化センター

<避難所の開設・運営>



倶知安総合体育館

<自衛隊 ヘリコプターによる救助>



銀山学園

<自衛隊 装甲車による避難>



雪ん子館

<北海道警察 ヘリコプターによる救助>



キロロリゾート

<ドローンによる住民広報・災害状況確認>



旭ヶ丘スキー用



雪ん子館

<衛星インターネット機器による通信環境の確保>



<避難経路確保のための道路啓開>



旭ヶ丘スキー場

<警察官による緊急迂回路誘導>



避難経路（真狩村）

<バス運転手への防護対策等の説明>



都住民センター

キ 原子力災害医療活動訓練

関係医療機関等と連携して原子力災害時における医療活動を行った。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 町 村 関 係 医 療 機 関 防 災 関 係 機 関 原 子 力 事 業 者	☐ 安定ヨウ素剤の緊急配布 ☐ 避難退域時検査場所〔キロリゾート〕を開設し、避難車両や避難住民の検査、簡易除染（多言語による対応） ☐ 医療機関〔岩内協会病院、札医大病院〕への患者搬送（発電所内被ばく傷病者）と受入施設での医療措置

＜安定ヨウ素剤の緊急配布＞



岩内高等学校

＜避難車両の検査（ゲート型モニタ）＞



キロリゾート



キロリゾート

＜避難車両の検査（サーベイメータ）＞



キロリゾート



キロリゾート

＜避難車両の除染＞



キロリゾート

＜外国人への多言語による情報伝達＞



キロリゾート



北海道国際交流・協力総合センター（HIECC）

＜避難住民の検査＞

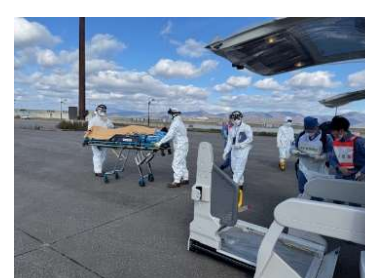


キロリゾート

＜原子力災害医療協力機関での被ばく傷病者受入れ＞



岩内協会病院



岩内町新港東ふ頭



札医大病院

ク 物資緊急輸送訓練

避難所や一時移転指示区域内で屋内退避を継続している住民を支援するため、必要な飲食物等の生活必需物資の緊急輸送を実施した。

機 関	主 要 活 動 項 目
北 海 道 関 係 町 村 防 災 関 係 機 関 原 子 力 事 業 者	☐ 陸路による物資緊急輸送 ☐ 放射線防護施設への物資・燃料の緊急輸送 ☐ 輸送を担う民間事業者の防護対策

＜陸路による物資緊急輸送＞



倶知安総合体育館

＜放射線防護施設への燃料供給＞



国富地区防災センター

＜放射線防護施設への物資供給＞



国富地区防災センター

ケ その他

(事故拡大防止訓練)

泊発電所において、使用済燃料ピット(SFP)からの大規模漏えいが発生した場合に、使用済燃料の損傷緩和および大気への放射性物質拡散抑制のため、可搬型大型送水ポンプ車および可搬型スプレィノズルを利用し、屋外からSFPへのスプレィを実施した。

(住民研修会)

原子力防災対策に係る知識の普及啓発を図るため、原子力防災に関する住民研修会を開催した。

＜可搬型大型送水ポンプ車による使用燃料ピット(SFP)スプレィ＞



＜共和町の住民研修会＞



ルスツリゾート



北海道電力(株)

＜赤井川村の住民研修会＞



キロロリゾート